第４号様式（第12条第１項）

特　定　作　業　実　施　届　出　書特定作業実施届出書

年　　月　　日

　　　富津市長　　　　　様

届　出　者　住所（所在地）

　　　　　　　（郵便番号　　　）

氏名（名称及び代表者の氏名）

この届出の取扱者　職氏名

　　　　　　　　（電話番号　　　）

　　特定作業の実施について、富津市環境条例　第35条第１項第36条第１項　の規定により、次のとおり届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 届出に係る特定作業の区分（該当するものを○で囲むこと。） | 　　１　騒音・振動　　　　　　　　　　　　　　２　悪臭 |
| 作業場の名称 | （電話番号　　　） |
| 作業場の所在地 | （郵便番号　　　） |
| 公害防止担当組織名（責任者職氏名） | （　　　　　　　　　　　　　　） | 資本金若しくは出資金又は資産の総額 | 万円 |
| 業種又は作業の種類 |  | 常時従事する従業員の数 | 人 |
| 主要生産品目 |  | 通常の始業及び終業の時刻 | 　 時　 分から　 時　 分まで |
| 届出済の特定作業又は特定施設　　　　　　該当するものを○で囲むこと。 | 特　定　作　業 | 特 定 施 設 | 用途地域の種類 |  |
| １　騒音・振動２　悪　臭 | １　騒音 |
| 特定作業に要する土地の面積 | ㎡ |
| ２　振動 |
| ３　悪臭 | の概要　　△特定作業 | 種類 | 別紙のとおり |
| 　地下水位の４著しい低下　地盤の沈下 | 実施の期間及び作業の時間 | 別紙のとおり |
| ばい煙等の防止又は処理の方法 | 別紙のとおり |
| 添付書類 | (１)　特定作業に係る事業経歴書(２)　特定作業に係る組織図(３)　特定作業の場所の付近の見取図 |
| ※　審　査　結　果 |  |
| ※受付年月日 | ※受理年月日 | ※整理番号 | ※備　考 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　△印の欄については、別紙１又は２のうち該当するものによること。

　　３　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　別紙１

|  |  |
| --- | --- |
| 騒音・振動に係る特定作業の概要 | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 特定作業の種類（該当のものを○で囲むこと。）　　　 | １　板金又は製かんの作業２　鉄骨又は橋梁の組立ての作業３　整地機又は掘削機を使用する作業４　自走式破砕機による破砕作業 | １　板金又は製かんの作業２　鉄骨又は橋梁の組立ての作業３　整地機又は掘削機を使用する作業４　自走式破砕機による破砕作業 |
| 作業実施（予定）年月日 | 年　　月　　日　 | 年　　月　　日　 |
| 特定作業の目的に係る施設の種類 |  |  |
| 施設の型式及び能力 |  |  |
| 施設の数 |  |  |
| 作業の方法 | １日の作業時間 | 午前午後　時から午前午後　時まで | 午前午後　時から午前午後　時まで |
| １箇月間の作業日数 | 日／月 | 日／月 |
| 季節的変動の概要 |  |  |
| 原材料 | 種類 |  |  |
| 使用量 |  |  |
| 作業場の状況 |  |  |
| 騒音・振動防止の方法 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 添付書類及び図面 | １　騒音・振動の特定作業に係る作業工程図２　作業場の敷地内の建物の配置図及び作業の目的に係る施設の配置図３　屋内の作業場にあっては、建物の構造等の図面 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　作業場の状況の欄には、特定作業を行う場所が、建屋内か、屋外かを明確にすること。

　　３　騒音・振動防止の方法は、別紙とし、特定作業を行う建屋の構造、遮音塀の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置、現に講じている措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を用いること。

　　４　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　別紙２

|  |  |
| --- | --- |
| 悪臭に係る特定作業の概要 | ※区分既・新・増・変 |
| ※備考 |
| 作業の実施 | 作業実施（予定）年月日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 | 年　　月　　日 |
| 特定作業の種類 |  |  |  |
| 作業の方法 | 特定作業の目的に係る施設の種類 |  |  |  |
| 原料の種類 |  |  |  |
| 原料の使用量(貯蔵種類及び貯蔵) |  |  |  |
| 製品名及び製造量 |  |  |  |
| 処　　理　　の　　方　　法 | 建屋の構造 |  |  |  |
| 集気の方法 |  |  |  |
| 処理施設の種類、名称及び型式 |  |  |  |
| 悪臭の種類等発生の予想される |  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
|  | 処理前 |  |  |  |
| 処理後 |  |  |  |
| 排出ガス量 | 最大　　　Ｎｍ3／分通常　　　Ｎｍ3／分 | 最大　　　Ｎｍ3／分通常　　　Ｎｍ3／分 | 最大　　　Ｎｍ3／分通常　　　Ｎｍ3／分 |
| 排出ガス温度 | ℃ | ℃ | ℃ |
| 排出口の高さ | ｍ | ｍ | ｍ |
| 排出口から敷地境界線までの最大水平距離 | ｍ | ｍ | ｍ |
| 特定作業から発生する廃棄物の種類及び処理方法 |  |  |  |
| 特定作業においてとりうる条例第33条の措置の方法 |  |  |  |
| 及び図面添付書類 | １　悪臭の排出及び処理作業の系統概要説明書２　悪臭の量等に関する説明書３　悪臭の特定作業の目的に係る施設の構造概要図４　悪臭の処理施設の概要図及び設置場所を示す図面５　作業場の敷地内の建物の配置図及び作業の目的に係る施設の配置図 |

　備考

　　１　※印の欄には、記入しないこと。

　　２　特定作業の種類の欄には、富津市環境条例施行規則別表第２の２に掲げる番号及び作業名を記入すること。

　　３　用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格Ａ列４番とすること。